

## 消去算（代入法）

みかんを3個とりんごを4個買うと620円、りんご3個の値段はみかん5個より30円高いです。みかん1個は何円ですか。

子どもにとって理解のむずかしい問題です。  
また、それに輪をかけて教える方もただの手順として教えることが多く、混乱を生みます。  
消去算の考え方の基本はあくまで「数を合わせる」ことです！

## まずはこう解け！

**Step1** 求めるものを ①、□とおき式を立て、「A セット」「B セット」とする！

**Step2** ○、□のどちらかの数を最小公倍数で合わせる！

**Step3** ○、□のどちらかを置き換える（代入する）！

## 😊 解き方

みかん 1 個の値段を ① 円、りんご 1 個の値段を □ 円とすると、

$$\textcircled{3} + \textcircled{4} = 620 \quad \dots \text{A セット}$$

$$\textcircled{3} = \textcircled{5} + 30 \quad \dots \text{B セット}$$

□ を最小公倍数 12 で合わせる。

$$\text{A セット} \times 3 \rightarrow \textcircled{9} + \textcircled{12} = 1860$$

$$\text{B セット} \times 4 \rightarrow \textcircled{12} = \textcircled{20} + 120$$

$$\textcircled{9} + \textcircled{12} = 1860$$

$$\downarrow \Leftrightarrow \textcircled{12} = \textcircled{20} + 120$$

$$\textcircled{9} + \textcircled{20} + 120 = 1860$$

$$\textcircled{29} + 120 = 1860$$

$$\textcircled{29} = 1740$$

$$\textcircled{1} = 60$$

**答え** 60 円

※受験生に指導するときの注意点…

「置き換えるために数を合わせる」だと解けないことが多い。

「数を合わせれば、置き換えられる」という視点で教えた方が良い。

加減法、代入法ともにポイントは「数を合わせること」！